

介助をする人と、介助をしてもらう人。  
お互いのココロとカラダに優しいのが「サットイレ」です。



兵庫県立 福祉のまちづくり研究所  
陳 隆明 所長

毎日の介護の中でもトイレの利用は介助をする人はもちろん、介助をしてもらう人にとっても高いハードルとなっています。介助をする側は、体力的に負担が大きく、腰や大腿を痛めたという話もよく耳にします。

支援機器の開発はそのような介護者の負担を減らすためにと一般的には考えられますが、「サットイレ」の開発コンセプトはそこに留まりません。それは介助をしてもらう側の負担も軽減するなど、双方向に“優しい”をキーワードにしたものです。

例えば要介助者が立ち上がる時、頭頸部に負担がかからないような動線の再現や、機器を使って身体の動きを全て代替するのではなく、自立を支援することにこだわることで、運動機能の回復を促すようにする。更にはトイレで人に見守られることなく一人で排泄が行えることで、尊厳が保たれるなど、要介助者の気持ちに寄り添った支援機器となっています。

排泄支援機器としては先発ですが、介助をする人と、介助をしてもらう人のココロとカラダに優しい支援機器に仕上がったと自負しています。そんな「サットイレ」は要介助者に留まらず、身体的な障害を持たれておられる方にもご利用頂けたらと思っております。

必要な用途に合わせて  
選べる2タイプ。



旋回機構

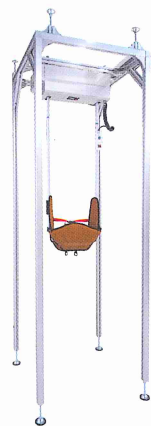
**SAT 01** 車イスからの移乗を可能とする  
旋回機構付き。

**SAT 02** 移乗後の昇降、姿勢保持に特化した  
固定タイプ(旋回機構なし)。

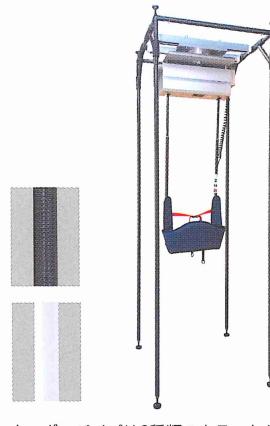
天井に工事不要な、  
2つの材質から選べる設置用フレーム。

※工事することで、天井に直接設置することも可能です。

アルミ製 SAT-AF



カーボン製 SAT-CF



カーボンパイプは2種類のカラーから  
お選びいただけます。

商品説明や実際の操作方法など、動画でご確認頂けます。



定格・仕様

販売名	サットイレ SAT01(旋回機構有り) / SAT02(リフト機構のみ)
使用電源	交流100V 50-60Hz
消費電力	161.4W
一般的名称	排泄動作支援機器
質量	本体:約14kg / 旋回機構:約16kg
外形寸法	SAT01(旋回機構有り) 高さ約34.5cm × 幅約55.2cm × 奥行約41.7cm SAT02(リフト機構のみ) 高さ約21.0cm × 幅約55.2cm × 奥行約27.6cm
製造国名	日本

※SATOILETは株式会社がかまかつの登録商標です。(特許登録6968309号)

製造販売元

株式会社 **がまかつ**

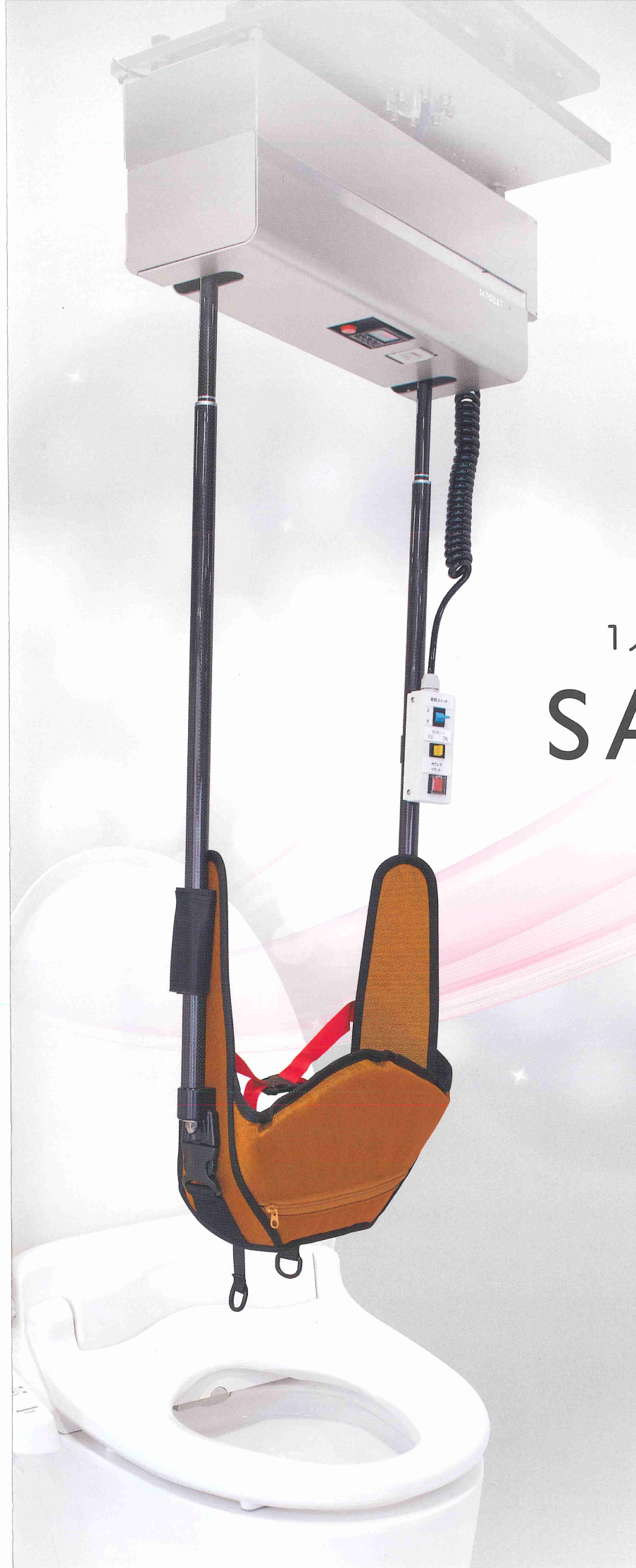
〒677-0014 兵庫県西脇市郷瀬町417番地 新規事業部 KR事業課  
TEL: 0795-39-0618(直通) FAX: 0795-23-5634 メール: g-kr@gamakatsu.jp

1人の介助で、さっと排泄支援。

# SATOILET

排泄動作支援機器「サットイレ」

SAT 01 SAT 02





# 2人での介助を1人で可能に。 「サットイレ」なら介護者の負担を大幅に軽減します。

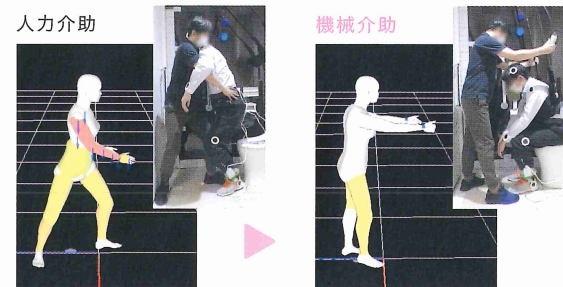
介護の現場では要介助者の排泄支援が介護者の大きな負担となっています。トイレまでの移動支援から立ち上がり、着衣介助、着座の支援、見守りなど、最低でも2人での対応が必要になります。忙しい現場でイレギュラーなタイミングで2名の介護者の手を取られるのは厳しく、長年の課題となっていました。そんな現場の一助になればと開発されたのが排泄動作支援機器「サットイレ」です。



## 介護者のメリット

### 負担減

最低2人の介護者が必要だった排泄が、1人でできますので時間と労力が軽減されます。介護者の体力的な負担もラクになります。



体の負担  
大  小

腰部負担 **67%減** / 大腿部負担 **75%減**

※全行程平均負担

## 要介助者のメリット

### 残存能力の維持、向上に期待

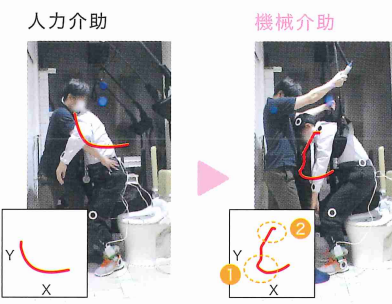
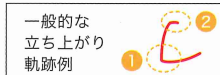
支援されながらも自力で歩行可能な要介助者向けの支援機器です。少しでも歩くことで歩行能力の低下を防ぎ、向上が期待できます。

### 尊厳を守る

着座姿勢が安定しますので、排泄を見守る心配もありません。要介助者も一人でトイレを使えますので、精神的ストレスも軽減します。

### 負担減

自然な立ち上がり動作で、ゆっくりと立ち上がることで、頭頸部への負担が軽減します。



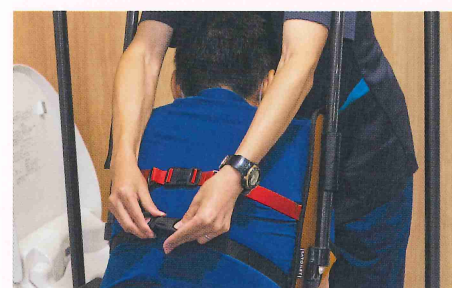
① 沈み込んでから上昇 ② 本人の支持基底面上に戻る

※データは厚生労働省 令和2年度「介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業」報告書より。

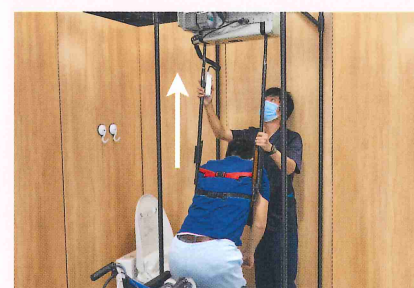
## 使用手順



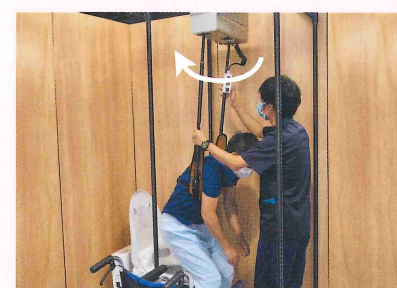
① 操作スイッチで体幹支持具を下降させます。



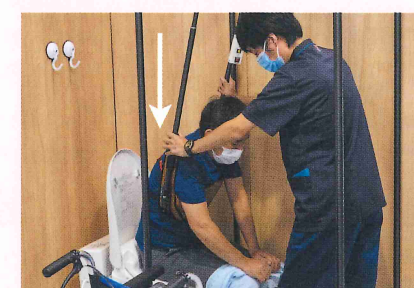
② バックルを背中中で留め、しっかりと締めます。



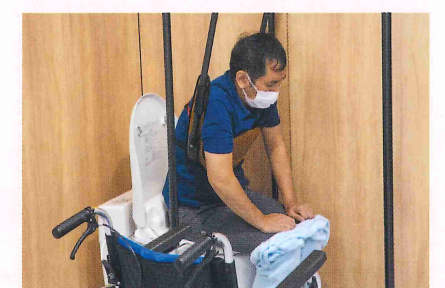
③ 操作スイッチで要介助者を立ち上げさせます。



④ 要介助者を便器方向にゆっくり回転させます。



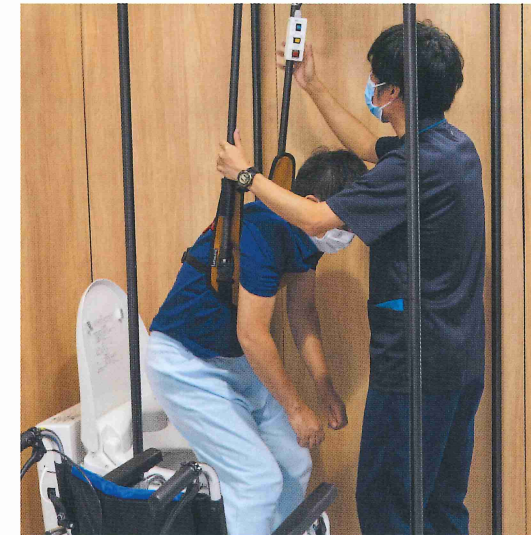
⑤ 操作スイッチで要介助者を便器に着座させます。



⑥ 要介助者が排泄を済ませるまで退室します。

## 介護者にも、要介助者にも優しい設計です。

### 簡単な装着で、さっと使え、安全に支える「体幹支持具」



体の大きさに合わせ、適切な前屈姿勢となるように、形状の異なる3サイズの体幹支持具を用意しています。



S SIZE  
小柄な方、  
体重の軽い方用

M SIZE  
成人女性、  
小柄な男性用

L SIZE  
成人男性、  
大柄な方用

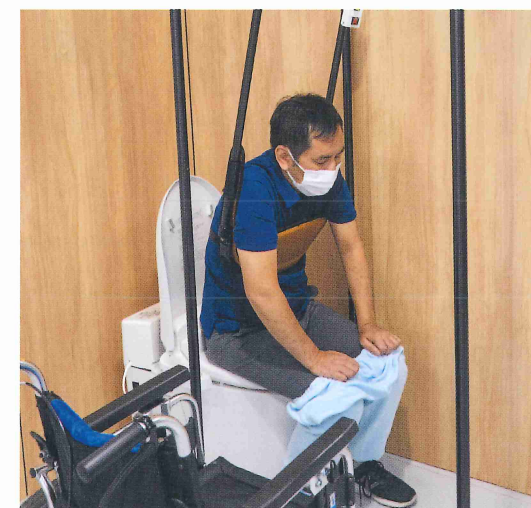
※安全のため、利用者にあったサイズをご使用ください。

ワンタッチで  
交換可能な  
バックルを採用。



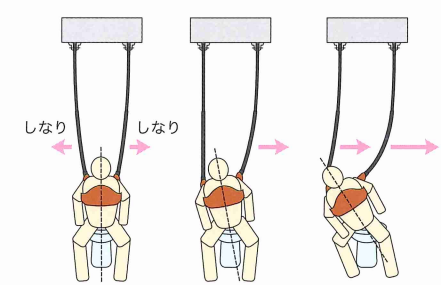
胸の前で優しく身体を包み込む形状は、前屈姿勢をとることができ、抜け落ちや局所的に力がかかることを防ぎます。また、頭を前に出すことで、自然な立ち上がり動作が可能となります。

### 「カーボンパイプ」でしなやかに身体を支える支持アーム

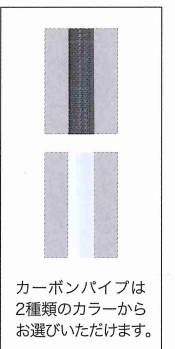


### 軽量・しなやか・強い

要介助者の身体を安全・確実に支持するカーボンパイプ製の支持アームを採用。ふらつきなどの動きに対してもしなやかに追従することで、安全に違和感なく姿勢を保持します。



利用者(要介助者)の動きに合わせて柔軟に追従し、しなりの力で姿勢を元に戻します。



カーボンパイプは2種類のカラーからお選びいただけます。